

やつこのことで、おかあさんやぎは、泣<sup>な</sup>

くことをやめて、末<sup>すえ</sup>っ子<sup>こ</sup>やぎといっしょ

に、そとへ出<sup>で</sup>ました。原<sup>はら</sup>っぱまでくる

と、おおかみは、やはり木<sup>き</sup>のかげになが

ながとねそべって、それこそ木<sup>き</sup>の枝<sup>えだ</sup>も葉<sup>は</sup>

も、ぶるぶるふるい動<sup>うご</sup>くほどの高<sup>たか</sup>いびき

を立<sup>た</sup>てていました。

ところで、おかあさんやぎが、おおか

みのようすを遠<sup>とお</sup>くからよく見<sup>み</sup>ますと、そ

のふくれかえったおなかの中<sup>なか</sup>で、なにか

もそもそ動<sup>うご</sup>いているのがわかりました。

(おおかみと七ひきの子やぎより)

よんだかいすう【かい